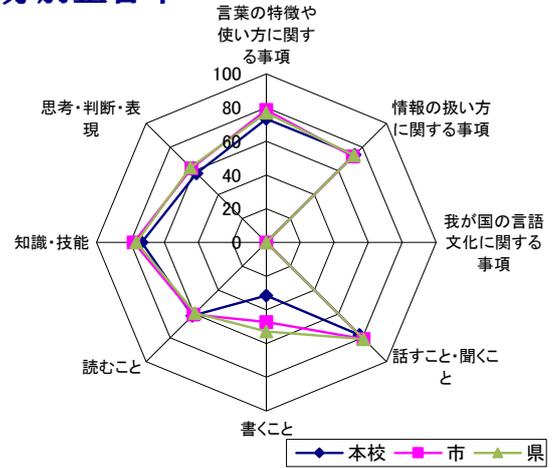


宇都宮市立錦小学校 第4学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	73.3	78.6	76.9
	情報の扱い方に関する事項	73.7	72.2	73.1
	我が国の言語文化に関する事項	0.0	0.0	0.0
	話すこと・聞くこと	77.6	81.0	81.1
	書くこと	31.6	47.2	52.8
	読むこと	61.4	60.5	59.3
観点	知識・技能	73.3	78.0	76.5
	思考・判断・表現	58.0	62.3	63.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率よりもやや低い。 ●漢字の読み書きに関する事項では、漢字によって正答率にばらつきがみられる。 ●主語と述語に関する事項の設問に対する平均正答率は、件の平均を8.6ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きについては、新出漢字だけでなく、既習の漢字も繰り返し復習する機会を設け、定着を図る。 文章の構成を理解できるように、物語文の学習において主語と述語を確かめるようにする。
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率とほぼ同じである。 ○国語辞典の使い方に関する問題では、県の平均、市の平均ともにわずかに上回っており、概ね定着しているといえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語辞典や漢字辞典を繰り返し活用し、使い方のさらなる定着を図る。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率よりもやや低い。 ●話し手が伝えたいことの内容を捉えることができるかをみる設問では、県の平均正答率92.8を6.8ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの機会を増やしたり、多くの児童に司会者の経験をさせたりして、話すこと・聞くことのスキルを高められるよう指導する。 話し合い活動において、発言者の意図を考えて聞き、他者の考えと比べながら自分の考えをまとめられるよう指導する。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率よりも低い。 ●自分の考えを明確にして文章を書くことに関しては、県の平均正答率56.2と比べて低く、22.9ポイント下回っている。 ●書くことに関しては、無回答率が県の平均18.6と比べて17ポイント上回っており、課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字数や段落攻勢を指定した文章を書く活動を意識的に取り入れる。 自分の考えを文章で表現したり書いた文章を友達と互いに読み合ったりする活動を通して、児童同士が助言し合うことにより、よりよい文章を書こうとする意欲を高める。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市や県の平均正答率よりもやや高い。 ○登場人物の気持ちについて、叙述をもとに捉える問題では、県の平均正答率よりも6.1ポイント上回っている。 ●登場人物の気持ちの変化について、具体的に想像する問題では、県の平均正答率55.8を3.2ポイント 	<ul style="list-style-type: none"> 物語文の学習では、場面の様子や登場人物の気持ちについて叙述を基に考えを深め合う時間を十分とり、読み取りを丁寧に行う。 読書を推奨するとともに、物語や説明文の指導の際には、段落の関係性にも注意して指導を行う。